



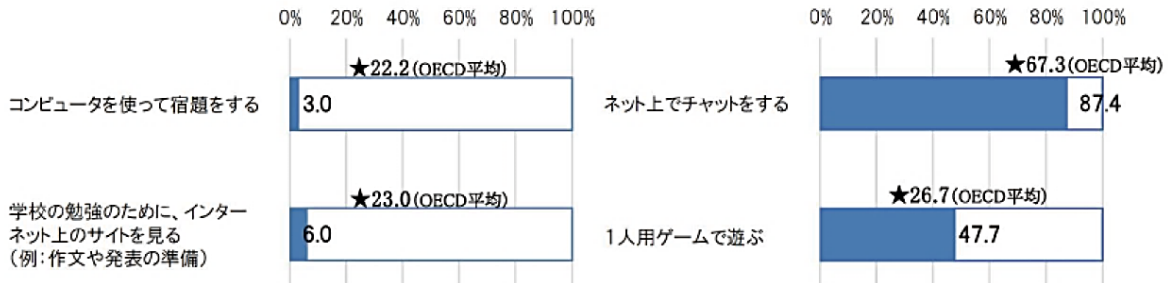
長野県の県立高校では

ICTを活用した学びの充実をめざします

文部科学省では、「ICT機器と学校の通信ネットワークを一体的に整備し、予測困難な未来を切り拓いていく力を、誰一人取り残すことなく育成する教育環境を実現する」GIGAスクール構想を推進しています。

また、日本は、OECD加盟国の中で、PC等をゲームやSNSで使う子供の割合は1位であるにもかかわらず、学習に活用する割合は最下位という背景もあります。

● 学校外での平日のデジタル機器の利用状況 (青色帯は日本の、★はOECD平均の「毎日」「ほぼ毎日」の合計)



(出典: OECD生徒の学習到達度調査 (PISA2018) 「ICT活用調査」)

長野県では、令和2年度中に、授業で使用するタブレット端末等を3人に1台整備し、また、すべての県立高校の校内Wi-Fi環境を普通教室を中心に整えます。

そこで、個人所有の端末もフル活用した豊かな学びの実現を、令和3年度中に目指してまいります。

1人1台端末で実現する豊かな学びのイメージ

一人一人に応じた学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

仲間と協働する学習



複数の意見・考えを議論して整理

家庭での学習



1人1台端末を活用した家庭学習、オンライン授業

文部科学省「学びのイノベーション事業」実践研究報告書より


1人1台端末は、**BYOD**として

スマートフォン又はタブレット端末等を活用します

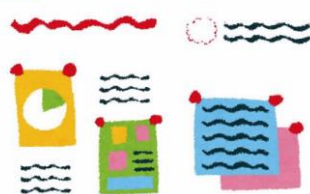


プレゼンを編集


多様なメンバーと協働してプレゼンを編集し、発表に活用することが可能。


レポートを作成


個別のレポートの作成と多様なメンバーとの共同編集が可能。


グラフで表現


データを任意のグラフで表現することが可能。メンバーとの共同編集も可能。

クラウド上で可能となる**使い方・学び方**

県立高校では1人ずつの無料アカウントを取得し、こんな機能を活用します


アンケートで分析


同時アクセス可能なアンケートを作成して分析、個別の小テストも可能。


オンラインで協議


校内外を問わずにオンラインで協議。臨時休業中も遠隔授業が可能。


スケジュール管理


個人でのスケジュール作成、任意のメンバーとの共有が可能。

BYODによる1人1台端末についてのQ & A**Q** BYODって、**何**ですか？

BYODとは、Bring Your Own Deviceの略です。個人所有のスマートフォン又はタブレット端末等を学校に持ち込んでいただき、探究的な学びや協働的な学びなど、授業等の様々な場面において活用します。

Q BYODの**よさ**は何ですか？

BYODでは、個人所有として機器を自由にカスタマイズできるため、自分専用の端末として愛着をもって大切に扱い、学校でも家庭でも生活を豊かにする道具として活用できるよさがあります。

Q タブレット端末の**購入**はどうすればよいですか？

学校ごとに対応が異なります。各学校からの連絡・通知に従ってください。

Q **経済的な事情**で端末を購入できない場合はどうすればよいですか？

県教育委員会がタブレット端末を貸与する制度があります。詳しくは学校からお知らせします。